

学習案内

シラバス

第1学年



鴻巣市立馬室小学校

1年生「国語」

【第1学年の目標】

- (1) 日常生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりすることができるようにする。
- (2) 順序立てて考える力や感じたり想像したりする力を養い、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えをもつことができるようにする。
- (3) 言葉がもつよさを感じるとともに、楽しんで読書をし、国語を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。

月	主に学習すること	主な学習のねらい
4	どうぞ よろしく	◎身近なことや経験したことなどから話題を決め、伝え合うために必要な事柄を選ぶことができるようにします。
5	はなの みち	◎場面の様子や登場人物の行動など、内容の大体を捉えることができるようにします。
6	くちばし	◎事柄の順序などを考えながら、内容の大体を捉えることができるようにします。
7	すきな もの、なあに	◎語と語や文と文との続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫することができるようにします。
9	やくそく うみの かくれんぼ	◎場面の様子や登場人物の行動など、内容の大体を捉えることができるようにします。 ◎文章の中の重要な語や文を考えて選び出すことができるようにします。
10	しらせたいな、見せたいな	◎経験したことなどから書くことを見つけ、必要な事柄を集めたり確かめたりすることができるようにします。
11	じどう車くらべ	◎事柄の順序などを考えながら、内容の大体を捉えることができるようにします。
12	むかしばなしを よもう おかゆの おなべ	◎読書に親しみ、いろいろな本があることを知ることができるようにします。
1	たぬきの 糸車	◎場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像することができるようにします。
2	どうぶつの 赤ちゃん	◎文章の中の重要な語や文を考えて選び出すことができるようにします。
3	ずうっと、ずっと、大すきだよ	◎文章を読んで感じたことや分かったことを共有することができるようにします。

【評価について】

- (1) 日常生活に必要な国語の知識や技能を身に付けているとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりしている。
- (2) 「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域において、順序立てて考える力や感じたり想像したりする力を養い、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えをもっている。
- (3) 言葉を通じて積極的に人と関わったり、思いや考えをもったりしながら、言葉がもつよさを感じようとしているとともに、楽しんで読書をし、言葉をよりよく使おうとしている。

【学習の特色や工夫】

- ◆音読カードを使い、声に出して読む学習を高めています。
- ◆ドリルやプリント、ワークシートを使い、文字を正しく書けるように繰り返し練習します。
- ◆読書タイムや読書週間に、読み聞かせのボランティアの方に協力をいただき、読書を奨励しています。
- ◆漢字が習得できるように、10問ずつの漢字ショートテストや学期ごとに漢字テストを実施しています。

1年生「書写」

【第1学年の目標】

- (1)姿勢や筆記具の持ち方を正しくし、文字の形に注意しながら丁寧に書くことができる。
 (2)点画の長短や方向、接し方や交わり方などに注意して、筆順に従って文字を正しく書くことができる。

月	学習すること	学習のねらい
4	はじめに じをかくしせい えんぴつのもちかた	○文字を書くときの姿勢を理解します。 ○鉛筆の持ち方を理解し、いろいろな線を書くことができるようにします。
5	ひらがなのかきかた 「とめ」と「はらい」と「はね」 硬筆展	○点画の書き方(止め・払い)に気をつけて書くことができるようにします。 ○硬筆展に向けて、文字の形を整えて、丁寧に書くことができるようにします。
6	「まがり」と「おれ」 「むすび」 かきじゅん	○点画の書き方(曲がり・折れ・むすび)に注意しながら丁寧に書くことができるようにします。
7	すきなものなあに (くくご)	○これまでに学習したことを生かして、丁寧に書くことができるようにします。
9	にているひらがな じのかたち ひらがなあつまれ できているかな よこがきのかきかた (生活)	○文字の形に注意しながら筆順にしたがって丁寧に書くことができるようにします。 ○筆記具の持ち方を正しくして書けるようにします ○点画の書き方や文字の形、横書きの書き方に注意しながら、筆順にしたがって丁寧に書くようにします。
10	かたかなのかきかた かたかなあつまれ かんじのかきかた	○点画の書き方(終筆・送筆)に注意しながら、筆順にしたがって丁寧に書くことができるようにします。
11	「おれ」「まがり」 「そり」 かきじゅん にているかん字とかたかな	○点画の書き方(折れ・曲がり・反り)に注意しながら、筆順にしたがって丁寧に書くことができるようにします。 ○点画の長短や方向に注意して、文字を正しく書くようにします。
12	字のかたち 書きぞめ展 よこがきのかきかた (さんすう) ことばをたのしもう (くくご) かんじずかん	○文字の形に注意しながら書くようにします。 ○横書きの書き方を理解して書くことができるようにします。
1	まとめ かきぞめ	○今までに学習した知識技能を生かして書くことができるようにします。
2	一年生のまとめ 空に大きくかこう	○点画の書き方(止め・はね・払い)に注意しながら丁寧に空書きするようにします。
3	水ふででかいてみよう	○点画の書き方(止め・はね・払い)に注意しながら丁寧に水書用筆で丁寧に書くようにします。

【評価について】

- (1)姿勢や筆記具の持ち方を正しくし、文字の形に注意しながら、丁寧に書いている。
 (2)点画の長短や方向、接し方や交わり方などに注意して、筆順に従って文字を正しく書いている。

【学習の特色や工夫】

- ◆書き方練習帳を活用し、正しい筆順で平仮名を書く練習をします。
- ◆6月に校内硬筆展、12月に校内書きぞめ展が行われます。

1年生「算数」

【第1学年の目標】

- (1) 数の概念とその表し方及び計算の意味を理解し、量、図形及び数量の関係についての理解の基礎となる経験を重ね、数量や図形についての感覚を豊かにするとともに、加法及び減法の計算をしたり、形を構成したり、身の回りにある量の大きさを比べたり、簡単な絵や図などに表したりすることなどについての技能を身に付けるようにする。
- (2) ものの数に着目し、具体物や図などを用いて数の数え方や計算の仕方を考える力、ものの形に着目して特徴を捉えたり、具体的な操作を通して形の構成について考えたりする力、身の回りにあるものの特徴を量に着目して捉え、量の大きさの比べ方を考える力、データの個数に着目して身の回りの事象の特徴を捉える力などを養う。
- (3) 数量や図形に親しみ、算数で学んだことよさや楽しさを感じながら学ぶ態度を養う。

【学習内容】

月	学習すること	学習のねらい
4	(1) なかまづくりとかず	○身の回りのものの数量に関心を持ち、数や量の概念の基礎となる力を育てます。 ○2つの集合の要素を1対1に対応させることや1～10の数字の読み方、書き方、数の構成を理解しそれを用いることができるようにします。
	(2) なんばんめ	○ものの順序を数を用いて正しく表すことができるようにするとともに、順序数の概念について理解します。
6	(3) あわせるといくつ ふえるといくつ	○加法の意味と和が10以内の加法計算のしかたを理解し、それを用いることができるようにします。
	(4) のこりはいくつ ちがいはいくつ	○減法の意味と被減数が10以内の減法計算のしかたを理解し、それを用いることができるようにします。
7	(5) どちらがながい	○長さの比較などを通して、長さの概念や測定についての理解の基礎となる経験を豊かにします。
9	(6) わかりやすく せりしよう	○絵や図を用いた数量の表現と読み取りの仕方を理解します。
	(7) 10よりおおきいかず	○20までの数について数の数え方、数の読み方、書き方、数の構成などを知り、数の概念について理解を深めます。
10	(8) なんじ なんじはん	○時刻に関心を持ち、何時、何時半の時刻を読む活動を通して、時刻についての理解の基礎となる経験を豊かにします。
	(9) 3つのかずのけいさん	○3口の数の加減や加減混合の計算のしかたを理解し、それを用いることができるようにします。
11	(10) どちらがおおい	○かさの比較などを通して、かさの概念や測定についての理解の基礎となる経験を豊かにします。
	(11) たしざん	○繰り上がりのある1位数どうしの加法計算の仕方を理解しそれを用いることができるようにします。(被加数が7～9の場合・被加数が2～6の場合)
12	(12) かたちあそび	○直方体、立方体、円柱、球などの立体図形の基礎的概念を身につけます。
	(13) ひきざん	○繰り下がりのある11～18-1位数の減法計算(減数が7～9の場合・減数が2～6の場合)の仕方を理解しそれを用いることができるようにします。
1	(14) おおきいかず	○10ずつまとめて数えることよさや100までの数の唱え方、数え方の仕方を理解しそれを用いることができるようにします。
	(15) どちらがひろい	○広さを直接比較、陣取りでの数値化等により広さの概念を身につけていきます。
2	(16) なんじ なんぶん	○時計を見て何時何分の読み方を理解し、それを用いることができるようにします。
	(17) たしざんとひきざん	○順序、順序数に関する加法や減法また、異種の量について加法や減法が適用できることを理解しそれを用いることができるようにします。
3	(18) かたちづくり	○色板やひごを用いて基本的な平面図形の構成について理解できるようにします。
	☆1ねんのふくしゅう	○1学年の学習内容の総復習をします。

【評価について】

- (1) 数の概念とその表し方及び計算の意味を理解し、量、図形及び数量の関係についての理解の基礎となる経験を積み重ね、数量や図形についての感覚を豊かにしている。また、加法及び減法の計算をしたり、形を構成したり、身の回りにある量の大きさを比べたり、簡単な絵や図などに表したりすることなどについての技能を身に付けている。
- (2) ものの数に着目し、具体物や図などを用いて数の数え方や計算の仕方を考える力、ものの形に着目して特徴を捉えたり、具体的な操作を通して形の構成について考えたりする力、身の回りにあるものの特徴を量に着目して捉え、量の大きさの比べ方を考える力、データの個数に着目して身の回りの事象の特徴を捉える力などを身に付けている。
- (3) 数量や図形に親しみ、算数で学んだことよさや楽しさを感じながら学ぼうとしている。

【学習の特色や工夫】

- ◆教科書だけでなく、ドリル学習や問題プリントを使った学習も進めています。
- ◆身近にある具体物を使ったり、実際に測ったり調べたりする活動をたくさん取り入れて学習を進めています。
- ◆既習事項を基にして自力解決の時間を設けます。また、自分の考えをノートにまとめたり、グループ、全体の中でお互いの考えを発表しあいます。

1年生「生活」

【第1学年の目標】

- (1) 学校、家庭及び地域の生活に関わることを通して、自分と身近な人々、社会及び自然との関わりについて考えることができ、それらのよさやすばらしさ、自分との関わりに気づき、地域に愛着をもち自然を大切にしたり、集団や社会の一員として安全で適切な行動をしたりするようにする。
- (2) 身近な人々、社会及び自然と触れ合ったり関わったりすることを通して、それらを工夫したり楽しんだりすることができ、活動のよさや大切さに気づき、自分たちの遊びや生活をよりよくするようにする。
- (3) 自分自身を見つめることを通して、自分の生活や成長、身近な人々の支えについて考えることができ、自分のよさや可能性に気づき、意欲と自信をもって生活するようにする。

月	学習すること	学習のねらい
4	○せいけんがはじまるよ わくわくどきどきしょうがっこう	○学校の施設の様子および、学校を支えている人々や友だちのことが分かり、楽しく安心して遊びや生活ができます。
5	○きらいにさいてねわたしのはな	○学校の施設や通学路の様子、および学校生活を支えている人々や友だちのことが分かり、楽しく安心して遊びや生活ができるとともに、安全な登下校ができます。
6	○きせつとなかよし	○植物を継続的に栽培して育てることを通して、それらの変化や成長の様子に気付くとともに、植物と親しみをもち、適切な世話をし、大切にすることができます。
7		○夏の公園や校庭で、身近な自然と関わり、それらを利用して遊ぶことを通して、遊びの面白さや自然の不思議さに気づき、みんなで遊びを楽しんだり、自分たちの生活を楽しくしたりすることができるのと同時に、公園がみんなで使う場所であることが分かり、安全に気を付けて、正しく利用することができます。
9	○なかよくなるうねくさなともだち	○身近な生き物を探したり飼ったりして、それらの生息環境や、変化や成長、生き物は生命をもっていることなどに気づき、の立場
10	○きせつとなかよしあき	○秋の校庭や公園で、身近な自然と関わり、それらを利用して遊ぶことを通して、秋の自然や、夏の思い出や変化に気付いたり、自分たちの生活を楽しくしたりすることができます。
11	○かぞくにこにこ大きくせん	○身近な自然物や、身の回りにあるものを使って、おもちゃを工夫してつくったり、遊び方を工夫したりして、遊びの面白さや自然の不思議さに気づき、安全に気を付けてみんなで遊びを楽しむことができます。
12		○家庭生活について、調べたり、尋ねたりすることを通して、自分の家庭生活を振り返り、家庭生活を支えている家族のことや、家族のよさ、自分でできることなどについて考え、自分の役割を積極的に果たすとともに、規則正しく健康に気を付けて生活することができます。
1	○きせつとなかよしふゆ	○冬の校庭や公園で、身近な自然と関わり、それらを利用して遊ぶことを通して、遊びの面白さや自然の不思議さ、季節の変化に気づき、みんなで遊びを楽しんだり、自分たちの生活を楽しくしたりすることができるのと同時に、みんなで使う公園などを支えている人々がいることが分かり、それらを安全に気を付けて、正しく利用することができます。
2	○もうすぐ 2年生	○自分の1年間の生活やできるようになったことを振り返ったり、年長児との関わりを深めたりする中で、自分自身の成長や、役割が増えたことに気付くとともに、支えてくれた人への感謝の気持ちと、進級への期待感や意欲をもつことができます。
3		

【評価について】

- (1) 身近な環境や自分自身に関心をもち、進んでそれらとかかわり、楽しく学習や生活をしようとする。
- (2) 具体的な活動や体験について自分なりに考えたり、工夫したりして、それをすなおに表現している。
- (3) 具体的な活動や体験をしながら、自分と身近な人、社会、自然とのかかわり及び自分自身のよさなどに気付いている。

【学習の特色や工夫】

- ◆子どもの生活圏である地域を学習の対象や場とし、見る、聞く、触れる、作る、探す、育てる、遊ぶなどして、体験的な活動を中心とした学習をします。
- ◆さまざまな人たちと触れ合えるよう、計画しています。
- ◆驚いたり、感動したりしながら、新たな発見をしたり、気付いたり、そして、深く考えていけるように、子どもたちが自らの思いや願いを実現していく過程を重視していきます。

1年生「音楽」

【第1学年の目標】

- (1) 曲想と音楽の構造などとの関わりについて気付くとともに、音楽表現を楽しむために必要な歌唱、器楽、音楽づくりの技能を身につけるようにする。
- (2) 音楽表現を考えて表現に対する思いをもつことや、曲や演奏の楽しさを見いだしながら音楽を味わって聴くことができるようにする。
- (3) 楽しく音楽に関わり、協働して音楽活動をする楽しさを感じながら、身の回りの様々な音楽に親しむとともに、音楽経験を生かして生活を明るく潤いあるものにしようとする態度を養う。

月	学習すること	学習のねらい
4	1 うたって おどって なかよくなるう	○友達と一緒に声を合わせて歌ったり、体を動かしながら音楽を聴いたりします。
5	2 はくを かんじとろう	○音楽に合わせて拍を打ちながら、曲全体を味わって聴いたり、リズムの特徴を生かして音楽づくりの発想を得たりします。
6	3 はくに のって リズムをうとう	○リズムの違いや拍などと曲想の関わりに気付き、楽器の音色に気をそめて演奏したりします。
7	4 みの まわりの おとにみみを すまそう	○身の回りの音に興味・関心をもち、友達と協力して音を探したり音遊びをしたりします。
9	5 どれみと なかよくなるう おんがくかいに むけて	○音の高さの違いに気をつけながら、階名で歌ったり鍵盤ハーモニカを演奏したりします。
10	6 せんりつで よびかけあおう	○友達どうして旋律の呼びかけ合いを意識して歌ったり、旋律を作ったりします。
11	7 がつきと なかよくなるう おんがくかいにむけて	○打楽器の音色のよさや面白さを感じ取って表現したり、曲想に合った表現の仕方について考えます。
12	8 ようすを おもいうかべよう	○友達と話し合いながら曲想に合う表現を工夫したり、音楽を作ったりします。
1	9 にほんの うたを たのしもう	○わらべうたの旋律に気付き、拍にのって声を合わせて歌います。
2～3	10 みんなで あわせて たのしもう	○声の出し方や楽器の演奏の仕方に気をつけながら互いに聴き合って表現します。

【評価について】

- (1) 音楽のよさや美しさを感じ取って表現したり、音楽づくりをしたりしている。
- (2) 自分の歌声や発音に期を付けてきれいな声で歌ったり、鍵盤ハーモニカ・打楽器などに親しんだり、簡単なリズムや旋律を演奏したりしている。
- (3) 音楽に関心をもち、音楽活動を楽しみながら表現したり、主なふしを口ずさんだり、身体反応をしたりしながら、楽しく聴いたりしている。

【学習の特色や工夫】

- ◆自分の思いを大切にし、表現することを楽しみます。
- ◆きれいな音や声を意識して演奏技能を身に付けます。
- ◆友だちと互いに聴き合いながら曲のよさを見つけ、表現を考えます。

1年生「図画工作」

【第1学年の目標】

- (1) 対象や事象を捉える造形的な視点について自分の感覚や行為を通して気付くとともに、手や体全体の感覚などを働かせ材料や用具を使い、表し方などを工夫して、創造的につくったり表したりすることができるようにする。
- (2) 造形的なよさや面白さや楽しさ、表したいこと、表し方などについて考え、楽しく発想や構想をしたり、身の周りの作品などから自分の見方や考え方を広げたりすることができるようにする。
- (3) 楽しく表現したり鑑賞したりする活動に取り組み、つくりだす喜びを味わうとともに、形や色などに関わり楽しい生活を創造しようとする態度を養う。

月	学習すること	学習のねらい
4	すきなもののいっぱい	○クレヨンやカラーペンなどで好きな物や好きなことを思いついでまま何枚も絵にかき楽しさを味わえるようにします。
	ねんどとなかよし	○粘土を触ってのびく活動します。
	クレヨンやパスとなかよし	○クレヨンやパスで写したり塗ったりします。
	いろいろならべて	○色紙の並べ方を考えながら活動します。
5	チョッキンパッドでかざろう	○折った色紙を切って開くことができる形をつなげて飾ります。 ※はさみの使い方やのりの使い方に慣れる。
	なが〜いかみから	○細長い画用紙でこんなものが描けるか考えます。
6	うきうきボックス	○空き箱を色紙などで飾ってつくります。 ※接着剤の使い方に慣れる。
	さわってかくのきもちいい!	○手や指を使って絵の具で描くたのしさを気持ちよさを味わいます。
7	みて、みて、いっぱいつくったよ	○粘土で好きなものやつくりたいものを見つけてつくる。
	せんのかんじ いいかんじ	○筆を大きく動かしてのびのびと描きます。
9	ふわふわゴー	○うちわであおぐと風で動いたのしいおもちゃを考えてつくります。
	さらさら だるだる いいきもち	○土の触り心地を味わいながら活動します。
	はって かさねて…	○お花紙や毛糸、シールで絵を描きます。
	ちぎってはって	○ちぎった色画用紙の形から考えて、絵に表します。
10	あそぼうよ、パクパクさん	○手で動かして遊ぶおもちゃをつくります。
	スタンプ、スタンプ!	○身近な材料を使って、形を見つけながらスタンプします。
11	ひかりのくにの なかまたち	○色セロハンと透明な袋で、光を通すときれいな飾りをつくります。
	おしらせします! にっこりニュース	○たのしかったことやうれしかったことを絵に表します。
12	みて、さわって、かんじて	○いろいろな紙を見て触って感じたことをたのしむ。
	くしゃくしゃしたら だいへんしん	○くしゃくしゃにした紙からつくりたいものを立体に表します。
	できたらいいな こんなこと	○できたらいいと思うことを考えて絵に表す。
1	はこと はこを くみあわせて	○空き箱を組み合わせて好きなものを立体に表します。 ※セロハンテープの使い方に慣れる。
	こころの はなを さかせよう	○新1年生が小学校生活を楽しく元気に過ごせるように願い、形や色を工夫して「心の花」をクレヨンやパスでかき、切り取って教室を飾るようにします。
2		
3		

【評価について】

- (1) 手や体全体の感覚を働かせ、材料や用具を使い、表し方を工夫して、創造的につくったり表したりする。
- (2) 表したいことを考え、楽しく発想や構想をしたり、身の回りの作品から自分の見方や感じ方を広げる。
- (3) 楽しく表現したり鑑賞したりする活動に取り組み、つくりだす喜びを味わうとともに、形や色などに関わり楽しい生活をつくろうとする。

【学習の特色や工夫】

- ◆自分の思いを大切に、表現することを楽しみます。
- ◆身近な素材を使っていろいろな方法で作品をつくります。
- ◆自分の作品のよさや友だちのよさを見つけ、鑑賞します。

1年生「体育」

【第1学年の目標】

- (1) 簡単なきまりや活動を工夫して各種の運動を楽しくできるようにするとともに、その基本的な動きを身に付け、体力を養う。
- (2) だれとでも仲よくし、健康・安全に留意して意欲的に運動をする態度を育てる。

学期	学習すること	学習のねらい
1	かけっこ	いろいろな方向に走ったり、低い障害物を走り越えたりするなどの基本的な動きを身に付けるようにする。
	固定施設遊び	登り下りや懸垂移行、渡り歩きや跳び下りなどの基本的な動きを身に付けるようにする。
	リズム遊び	軽快なリズムに乗って踊るなどの基本的な動きを身に付けるようにする。
	折り返しリレー	いろいろな方向に走るなどの基本的な動きを身に付けるようにする。
	多様な動き遊び	体のバランスをとる動き、体を移動する動き、用具を操作する動き、力試しの動きなどの基本的な動きを身に付けるようにする。
	川跳び	手で支えての体の保持などの基本的な動きを身に付けるようにする。
	マット運動遊び	いろいろな方向への転がり、手で支えての体の保持や回転などの基本的な動きを身に付けるようにする。
	水遊び	水につかって歩いたり走ったりするなどの基本的な動きを身に付けるようにする。
2	鉄棒	支持しての揺れや上がり下り、ぶら下がりや易しい回転をするなどの基本的な動きを身に付けるようにする。
	かけっこ	いろいろな方向に走ったり、低い障害物を走り越えたりする基本的な動きを身に付けるようにする。
	跳び箱遊び	跳び乗りや跳び下り、手を着いてのまたぎ乗りやまたぎ下りなどの基本的な動きを身に付けるようにする。
	多様な動き遊び	体のバランスをとる動き、体を移動する動き、用具を操作する動き、力試しの動きなどの基本的な動きを身に付けるようにする。
	的当て遊び	簡単なボール操作によって、易しいゲームをするなどの基本的な動きを身に付けるようにする。
	表現遊び	身近な題材の特徴を捉え、全身で踊るなどの基本的な動きを身に付けるようにする。
	氷おに・手つなぎおに	一定の区域で、逃げる、追いかける、陣地を取り合うなどの基本的な動きを身に付けるようにする。
3	短縄・大縄	連続して跳んだりするなどの基本的な動きを身に付けるようにする。
	体ほぐし	手軽な運動遊びを行い、心と体の変化に気付いたり、みんなで関わり合ったりするなどの基本的な動きを身に付けるようにする。
	しっぽ取りおに遊び	一定の区域で、逃げる、追いかける、陣地を取り合うなどの基本的な動きを身に付けるようにする。
	ボール蹴り遊び	簡単なボール操作と攻めや守りの動きによって、易しいゲームをするなどの基本的な動きを身に付けるようにする。
	グリコ・ヘビじゃんけん	片足や両足で、いろいろな間隔に並べられた輪等を連続して前方に跳ぶこと。また、いろいろな形状の線上等を真っ直ぐに走ったり、蛇行して走ったりすること
	力試しの運動	多様な動きをつくること。
	はしごドッチボール	簡単なボール操作と攻めや守りの動きによって、易しいゲームをするなどの基本的な動きを身に付けるようにする。

【評価について】

- (1) 各種の運動遊びの楽しさに触れ、その行い方を知るとともに、基本的な動きを身に付けられたか。
- (2) 各種の運動遊びの行い方を工夫するとともに、考えたことを他者に伝える力を養えたか。
- (3) 各種の運動遊びに進んで取り組み、きまりを守り誰とでも仲よく運動をしたり、健康・安全に留意したりし、意欲的に運動をする態度を養えたか。

【学習の特色や工夫】

- 1時間の授業の行い方
 - ① あいさつ、健康観察・・・・・・・・元気よくあいさつします。心と体の状態を確認します。
 - ② 準備運動、慣れの運動・・・・・・・・筋肉や関節の可動範囲や呼吸循環器の機能を高めます。
 - ③ 主運動・・・・・・・・それぞれのめあてにむかひ運動します。
 - ④ 学習のまとめ・・・・・・・・自己評価や相互評価を行い、学習の成果を確認します。
 - ⑤ 後片付け、整理運動、あいさつ・・・・協力して安全に片付けます。軽い運動で緊張をほぐします。
- 今日の授業での自分のめあてをもたせて課題を解決する学習を進めます。(めあて学習)
- 1年生の重点教材・・・・・・・・体づくり運動、鬼遊び、鉄棒遊び、走の運動遊び、水遊び

1年生「道徳」

【第1学年の目標】

よりよく生きるための基盤となる道徳性を養うため、道徳的諸価値についての理解をもとに、自己を見つめ、物事を多面的・多角的に考え、自己の生き方についての考えを深める学習を通して、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てる。

月	教材名	ねらい
4	あかるい あいさつ	日々の生活場面における挨拶に目を向け、気持ちのよい言葉遣いや所作が明るい気持ちにつながることに気づき、身近な人々に明るく接しようとする心情を育てます。
5	はりきり いちねんせい	よいことと悪いことの区別をし、自分がよいと思ったことを進んで行おうとする態度を養います。
	かぼちゃの つる	わがままをしないで生活を送ることが快適な毎日につながることに気づき、進んで周囲に対する気配りや思いやりをもち、安全のきまりを守って気持ちのよい生活を送ろうとする心情を育てます。
	ぼくは、きゅうしょくとうばん	自分のしたことがみんなの役に立つうれしさを感じ、学級生活の充実に向けて進んで仕事をしようとする態度を養います。
	はやとの ゴール	相手のことを考えて、優しく接することの大切さが分かり、親切な行為をしていこうとする態度を養います。
6	きんの おの ぎんの おの	正直で誠実であることの素晴らしさを実感し、自分の気持ちや言動に対して、うそをついたりごまかしたりしないで、明るく元気よく行動する心情を育てます。
	めだかの めぐ	みんなが助け合おうと楽しい学校生活を送ることができることが分かり、自分もみんなのためにできることを頑張ろうとする態度を養います。
	みらいくんの え	行動が自分の好みや利害にとらわれていないか考え、誰とでも同じように公正、公平に接しようとする心情を育てます。
	みんな あかちゃんだったよ	自分の成長に喜びを感じ、大切にしていこうとする心情を育てます。
7	げんきでね、あげはくん	身近な自然に親しみ、そのふれ合いを通じて豊かな心を形成し、動植物を愛する素晴らしさに気づき、優しい心で大切に接しようとする心情を育てます。
	おかしく ないかな	公共物や公共の場所を使うとき、周りの人々や、次に使う人々の気持ちを考えることが大切であることに気づき、約束やきまりを守ろうとする判断力を育てます。
9	ぼくの こと きみの こと	自分の長所に気づき、自分のよさを伸ばしていこうとする心情を育てます。
	だれも 見て いない	よいことと悪いことを区別し、小さなことでも、人としてしてはならないことはしないという判断力を育てます。
	じゃんけんぼん	自分の好き嫌いとらわれずによく考えて行動することのよさに気づき、誰に対しても公正、公平に接しようとする心情を育てます。
	空色の たまご	生き物との関わり方について考え、小さな生き物にも優しい心で接しようとする心情を育てます。
10	はちさんの バッジ	身近な人々にお世話になっていることに気づき、それらの人々に感謝しようとする心情を育てます。
10	みらいに むかかって	なりたい自分について考えることを通して、自分がやらなければならないことにしっかりと取り組もうとする態度を養います。
	となりの ジェニーちゃん	他国の人々と進んで関わり、よりよい関係を築こうとすることの大切さに気づき、他国の人々や文化に親しもうとする心情を育てます。
	さるきちの いたずら	情報に関する約束やきまりについて考えることを通して、公共物を使うときに大切にしたいことに気づき、約束やきまりをしっかりと守ろうとする判断力を育てます。

11	ノンノン だいじょうぶ	いつもと変わらない朝が迎えられることに喜びを感じ、自分の生命と健康を大切にしようとする心情を育てます。
	大あわての トラッピー	どのような状況であっても、身勝手にわがままな行動や発言をしないで、周りの人のことも考えた節度ある生活をしようとする心情を育てます。
	くりの み	身近な友達と仲よく活動し、助け合うことの大切さに気付き、困っているときには互いに助け合おうとする心情を育てます。
	ぼっかぼか	挨拶をすることで自分も相手も気持ちよくなることに気付き、心と心が通い合う挨拶をしようとする態度を養います。
12	はしの 上の おおかみ	親切にしたときの気持ちよさを知り、誰に対しても思いやりの心をもって接しようとする心情を育てます。
	七つぼし	美しいものや清らかなものに素直に感動する体験を通して、すがすがしい心情を育てます。
	お正月	我が国や郷土の伝統や文化が私たちの生活に密着していることに気付き、愛着を深めそれらに親しもうとする心情を育てます。
1	ともくんの 字	勉強や仕事に一生懸命取り組むことの大切さ、やらなければいけないことを自分の力で成し遂げた喜びと充実感について考え、自分でやらなければならないことは、しっかりとやろうとする心情を育てます。
	サバンナの 子ども	家族のために働く喜びや、自分も家族の一員であることに気付き、家族のために進んで手伝おうとする態度を養います。
	うんどうぐつ	間違っていると感じることを見過ごさず、よいと思うことを進んで行うための判断力を育てます。
2	ないちゃった	相手の気持ちを考えて温かい心で接することで、お互いにより気持ちになれることが分かり、身近にいる人に対して温かい気持ちで接しようとする態度を養います。
	じしんが おきて	どんな物も、それを作った人がいること、そして、そこには作った人の心が込められていることに気付き、物やお金を大切にしようとする態度を養います。
	ハムスターの 赤ちゃん	生命の誕生や成長の様子を見つめ、命を大切にしようとする心情を育てます。
3	二わの 小鳥	寂しい思いをしているであろう友達の気持ちを考えて、相手の立場を理解し思いやって行動することの大切さに気付き、友情を深めていこうとする心情を育てます。
	大すきだから	自分が好きなことや人との関係から自身の特徴に気付き、自分のよさを進んで伸ばそうとする心情を育てます。

【評価について】

- ◆内面的資質である道徳性が養われたか否かは、容易に判断できるものではないので、道徳においての数値の評価はしません。道徳の時間での発言、グループでの話し合いの様子、ワークシートやノートへの記入、役割演技、自己評価、相互評価などから、記述による評価としています。

【学習の特色や工夫】

- ◆道徳の授業は主に
 - 自分自身について（生活習慣・善悪の判断・誠実・勤勉・努力・責任・個性伸長など）
 - 人とのかかわり（礼儀・思いやり・感謝・友情・信頼・相互理解・寛容など）
 - 集団や社会とのかかわり（規則・公正公平・正義・家族愛・集団生活・伝統文化・国際理解など）
 - 命や自然・崇高なものとのかかわり（生命の尊さ・自然愛護など）

といった4つの内容項目に分類されています。

道徳の学びは学校の授業の時間だけではなく、家族で過ごす時間、また動植物と触れ合う機会もあると思います。小さな命も大切にすることや、公共のマナー・きまりはなぜあるのかなど、さまざまな体験を通して、ご家庭でも話し合っていたいただくと、今後の道徳の授業へと繋がっていくことでしょう。

授業では、場面絵や大型画面を使用して、児童の興味関心を深めたり、登場人物の心情を考えたりします。最後に自分のこととして、自己の生き方との関わりで考え、振り返りをします。また小グループでの話し合いや、ワークシートを使用したりして、自分の考えを深める工夫をしています。

1年生「学級活動」

1 学級活動の目標

学級や学校での生活をよりよくするための課題を見だし、解決するために話し合い、合意形成し、役割を分担して協力して実践したり、学級での話し合いを生かして自己の課題の解決及び将来の生き方を描くために意思決定して実践したりすることに、自主的、実践的に取り組むことを通して、第1の目標に掲げる資質・能力を育成することを目指す。

学級活動(1)ア	学級や学校における生活上の諸問題の解決	イ	学級内の組織づくりや役割の自覚	
ウ	学校における多様な集団の生活の向上			
学級活動(2)ア	基本的な生活習慣の形成	イ	よりよい人間関係の形成	
	ウ	心身ともに健康で安全な生活態度の形成	エ	食育の観点を踏まえた学校給食と望ましい食習慣の形成
学級活動(3)ア	現在や将来に希望や目標をもって生きる意欲や態度の形成	イ	社会参画意識の醸成や働くことの意義の理解	
	ウ	主体的な学習態度の形成と学校図書館等の活用		

2 学級を単位として、仲よく助け合い学級生活を楽しくするとともに、日常の生活や学習に進んで取り組もうとする態度の育成に資する活動を行います。

月	(1)学級や学校の生活づくりへの参画【24時間】	(2)日常生活や学習への適応と自己の成長及び健康安全 (3)一人一人のキャリア形成と自己実現 【(2)(3)は合わせて11時間】	
	予想される議題、活動	1単位時間	短時間で指導する題材
4	<ul style="list-style-type: none"> こんなクラスにしたいな はじめましての会をしよう 	(2)ア 馬室小3つのやくそく (2)ウ 学校の行き帰り (3)イ 掃除の仕方	<ul style="list-style-type: none"> 日直のしごと 火災の時のひなんの仕方 楽しい給食 楽しい縦割り班活動
5	<ul style="list-style-type: none"> 先生の仕事を見つけてお手伝いをしよう みんなの係を決めよう 雨の日の遊びを考えよう 話し合いの進め方「司会や発表の仕方、提案用紙の書き方、議題箱の使い方」をおぼえよう お楽しみ会をしよう 	(2)ウ むし菌とおやつ 【歯科指導】	<ul style="list-style-type: none"> プールでの約束
6	<ul style="list-style-type: none"> 2学期の係を考えよう クラスの歌を考えよう ドッジボール大会を開こう クラスのマークを決めよう 	(2)ウ 体をきれいにしよう 【性教育】	<ul style="list-style-type: none"> 夏休みのすごし方 持ち物の整理
7	<ul style="list-style-type: none"> 2学期の係を考えよう クラスの歌を考えよう ドッジボール大会を開こう クラスのマークを決めよう 	(2)ア 2学期のめあてをたてよう (3)ウ 楽しく本を読もう	<ul style="list-style-type: none"> 地震の時の避難の仕方 運動会をがんばろう よく見える目 わずれものをなくそう
9	<ul style="list-style-type: none"> クラスのたからをみつけよう 	(2)エ 好ききらいをしないで食べよう	<ul style="list-style-type: none"> 安全な遊びをしよう 家庭学習をしよう
10	<ul style="list-style-type: none"> 係の発表会をしよう 		<ul style="list-style-type: none"> 冬休みのすごし方 かぜのウイルスに負けないぞ 3学期のめあてをたてよう
11	<ul style="list-style-type: none"> 新しい係を考えよう カルタ大会の計画を立てよう※生活科との関連 	(2)ウ じょうぶな体	<ul style="list-style-type: none"> ものを大切に 安全な避難のしかた
12	<ul style="list-style-type: none"> 6年生を送る会の出し物を決めよう 	(2)ウ なんとさどうする 【性教育】	
1	<ul style="list-style-type: none"> 思い出いっぱいお楽しみ会を開こう 	(3)ア もうすぐ2年生	<ul style="list-style-type: none"> 教室をきれいに

3 学級活動では、(1)、(2)、(3)それぞれ次の3つ観点から子どもの学習の様子を評価します。

学級活動(1)の活動の様子

- [1] 学級の身の回りの問題に関心を持ち、他の児童と協力して進んで集団活動に取り組もうとしている。
- [2] 学級生活を楽しくするために話し合い、自己の役割や集団としてのよりよい方法などについて考え、判断し、仲よく助け合って実践している。
- [3] みんなで学級生活を楽しくすることの大切や、学級集団としての意見をまとめる話し合活動の基本的な進め方などについて理解している。

学級活動(2)(3)の活動の様子

- [1] 自己の身の回りの問題に関心を持ち、進んで日常の生活や学習に取り組もうとしている。
- [2] 学級生活を楽しくするために日常の生活や学習の課題について話し合い、自分に合ったよりよい解決方法などについて考え、判断し、実践している。
- [3] 学級生活を楽しくすることの大切さ、そのための基本的な生活や学習の仕方などについて理解している。

4 学習の特色や工夫

- [1] 学級活動(1)では、予想される議題・題材を紹介しており原則としては、学年、学級で計画を立てたり、児童と一緒に計画(児童からの議題を取り上げて)を立てたりしながら活動していきます。
- [2] 実践したことや体験したことを記録したり自分の言葉で発表したりできるようにします。